

# 平成17年度科学技術関係施策について

厚生労働省

平成17年度の科学技術分野の重点事項(総合科学技術会議)

我が国の研究基盤となる  
研究開発の着実な推進



我が国の経済を発展させ  
国際競争力を確保する  
科学技術活動の推進



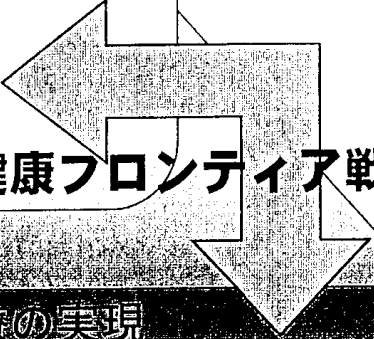
安心・安全な生活を実現する  
科学技術活動の推進



科学技術システムの  
改革等

## 重点事項

**1. 健康安心の推進**(健康寿命の延伸)  
 (1) 糖尿病等の生活習慣病対策の推進  
 ・新たな大型戦略研究事業を導入  
 ・画期的予防・診断・治療法の開発  
 ・大規模多施設共同研究の推進  
 (2) 介護予防の推進  
 ・痴呆・骨折対策の推進  
 ・介護技術の研究開発



## 健康フロンティア戦略の推進

**2. 健康安全の確保**

- 新興・再興感染症対策  
SARS、高病原性インフルエンザ等の感染症の予防・診断・治療の研究推進
- 食の安心・安全の確保  
ゲノム科学等を活用した予測システムの研究
- 危機管理対策  
有効で迅速な対応システム
- 医療安全の確保

**3. 先端医療の実現**

- ゲノム科学・タンパク質科学・ナノテクノロジー等の応用  
ドラッグ・ゲノミクス研究の開始  
サノテイシン関連研究推進
- 先端医療の実用化、治験環境の整備の推進  
治験推進研究の充実

# 健康フロンティア戦略の策定へ

(平成17年度～平成26年度)

## 我が国は超高齢化社会への道

10年後の平成27年(2015年)には、高齢者数が3300万人と予測  
「明るく活力ある社会」を構築 と「健康寿命」の延伸 へ

糖尿病・がん等の  
疾病の罹患と死亡を減らす

数値目標の設定

要介護になることを防ぐ

働き盛り層  
生活習慣病と心の健康

女性層  
女性のがん

高齢者層  
介護予防

健康寿命を延ばす科学技術の振興  
先端科学技術の導入と生活習慣病・介護予防研究の推進

(参考)

健康フロンティア戦略は、「経済財政運営と構造改革に関する基本方針2004」  
(平成16年6月4日閣議決定)に盛り込まれた。

# 健康寿命を伸ばす科学技術の振興【概要】

## 【基本的考え方】

- 新しい技術の開発やその臨床応用、既存技術の普及にバランスよく投資
- 医療や介護の現場を支える各種技術の開発と普及を推進

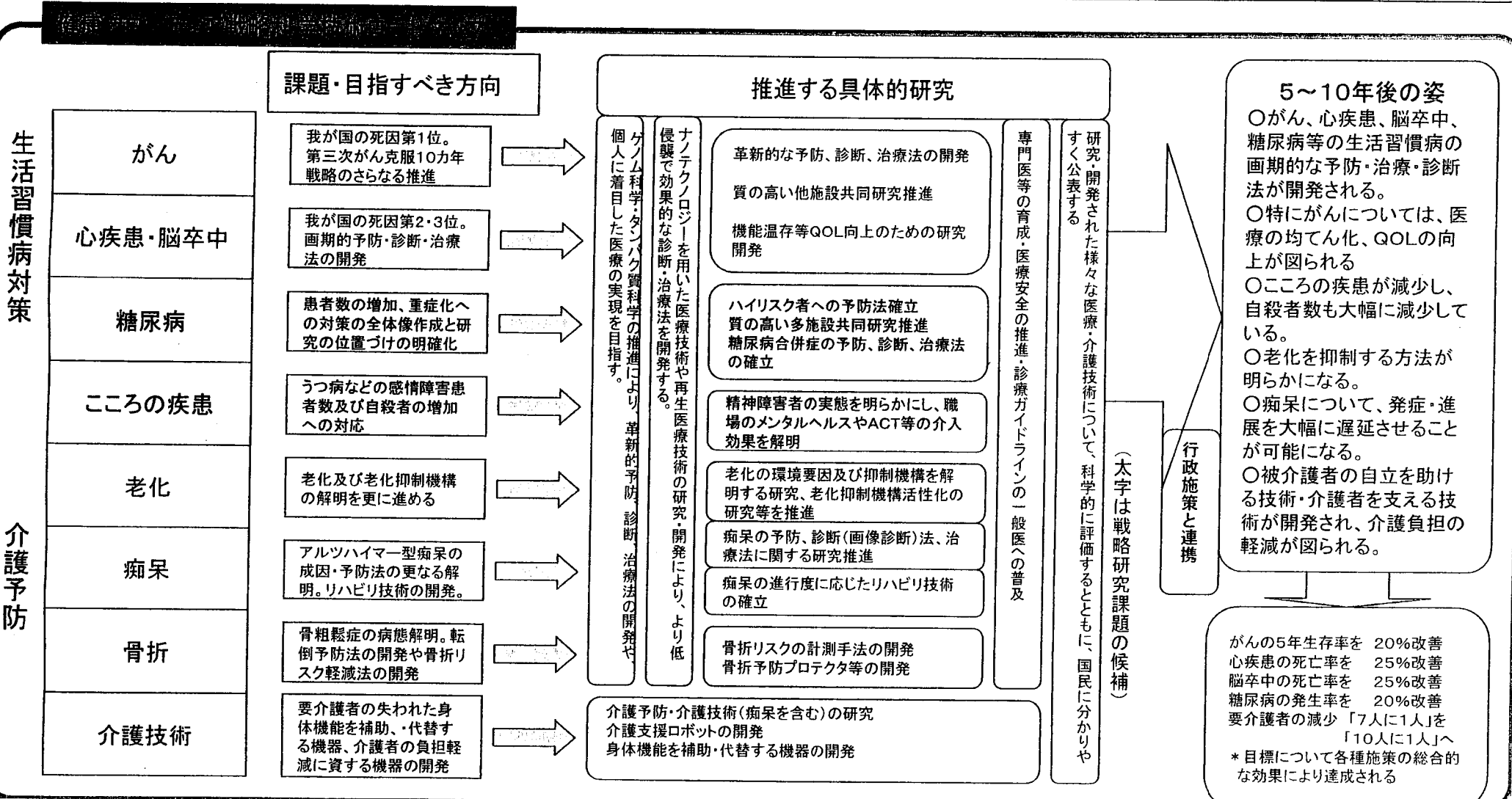


## 【全体目標】

- 健康寿命の延伸の技術的基盤の整備
- 国民ひとりひとりが技術の進歩を実感

## 【新しい研究枠組みの導入】

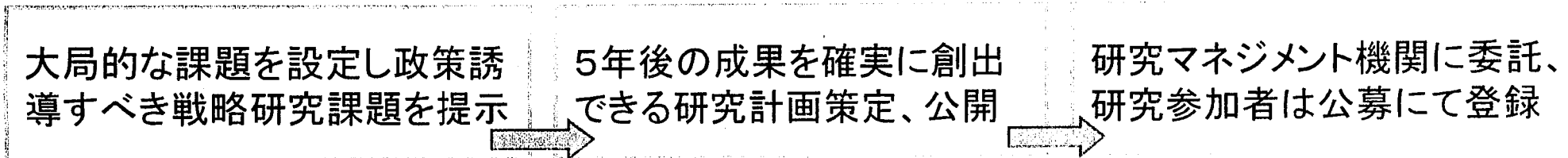
健康寿命の延伸という観点から、健康負荷が大きく、かつ研究の推進による健康負荷の軽減効果が大いと考えられる糖尿病や心の健康等の分野については、これまでの公募型、指定型という枠組みを越えて、規模の大きい戦略研究（仮称）という枠組みを導入する。



# 健康フロンティアにおける戦略研究(仮称)の創設

◎ 厚生労働科学研究に従来の一般公募の他、政策対応型の大規模戦略研究を導入

## ○ 戦略研究の検討イメージ



社会的課題に優先対応、各プロセスの情報提供

課題設定・プロトコル策定・成果公開のプロセスには厚生科学審議会が関与

## ○ 戦略研究課題のイメージ

### 重要政策課題の抽出(例)

糖尿病患者及びハイリスク者等の急増は深刻な社会問題であり、糖尿病の発症予防・治療対策が重要政策課題。

### 5年後の成果を明示(例)

- ハイリスク者の糖尿病移行を低減
- 糖尿病合併症併発者数を抑制
- 画期的〇〇技術(予防・治療)を実用化

計画策定へ

種類	性格	課題	報告と評価	応募者	期間	課題数
厚生労働科学研究 〔一般公募課題〕	競争	具体的に設定 研究方法公募	年次報告・評価	個人・団体	最長3年	1,400 課題
厚生労働科学研究 〔戦略研究課題〕	競争	成果目標設定 研究管理委託	成果公開・評価	団体へ委託	5年計画	数題